

## 令和5年度実証実験サポート事業 課題提案票

### テーマ6

レーダー技術等を活用した排水機場の劣化状況の診断（袋井市）

#### 1. 解決したい課題の内容

- ・袋井市内に、大雨などによる市街地や農地などへの水害を未然に防止するために、排水ポンプを運転して、雨水や生活排水などを河川に強制的に排水するための施設である排水機場が7か所ある。これらは昭和40年代から50年代に整備され、整備から40年以上が経過している。
- ・排水機場は、流水や汽水（海水）に接する厳しい環境にあるため、劣化が進行しやすく、地盤条件によっては設備の劣化調査作業がより困難になるという性質がある。
- ・現在、施設の維持管理については、目視可能な箇所、電気・機械設備等は、事後保全で対応（トラブルが起きてからの保全対応）している。
- ・一方、目視が困難な流入槽内及び屋上（建屋）の劣化状況の確認・診断には危険や労力、費用を要するため、整備から現在まで約40～60年近く、劣化確認や診断が実施できていないことが課題である（屋上については、一部防水工事を実施している）。

#### 2. 実現したい目標について

- ・職員やコンサルタントが直接、目視で劣化状況を確認せずに、安全・安価に劣化状況を確認・診断できるようにしたい。

#### 3. 必要とする技術について

以下を想定するが、これにこだわらない。

- ・建物を破壊せず内部を調べられるレーダー技術

#### 4. 想定する実証実験（内容・希望時期等）について

時期について特段の希望はないが、梅雨時期や台風シーズンは雨量が多いため実証が難航する可能性がある。

実証内容は以下を想定するが、これにこだわらない。

- ・市内施設にて、提案技術を実証導入し、効果を検証

#### 5. 課題に関連する事業のホームページ URL

- ・袋井市「湛水防除事業」

<https://www.city.fukuroi.shizuoka.jp/soshiki/15/nousei3/tansuibouzyo/1502945063508.h>

tml